

English Wind

小学校全教職員及び

中学校英語科担当教員配付

英語教育の



1 新学習指導要領における「学習評価」を考える ②「小学校高学年(5・6年)」Ⅱ

●前号に引き続き、小学校における学習評価について、「報告書」、「通知」及び「参考資料(暫定版)」などを基に情報を一部整理します。「参考資料」については、暫定版となっています。今後変更される可能性がありますので、留意してください。

また、情報の一部を整理していますので、当該部分のみを読んだ場合に、情報が正確に伝わらない場合があります。「報告書」及び「通知」を熟読していただくと、さらに理解が深まります。

●「音声の特徴を捉えて話す」の評価

発音が苦手、発音を評価する？

ア 音声 次に示す事項のうち基本的な語や句、文について取り扱うこと。

- (ア) 現代の標準的な発音
- (イ) 語と語の連結による音の変化
- (ウ) 語や句、文における基本的な強勢
- (エ) 文における基本的なイントネーション
- (オ) 文における基本的な区切り

⇒ **それ自体を観点別評価の規準とはしないが、適切に指導を行う。**

●内容のまとめ(五つの領域)ごとの評価規準

内容のまとめごとの評価規準、どんなもの？

文部科学省により、右図のとおり、3つの観点と5領域についての評価規準が示されています。いわゆる「参考資料」の第2編と照合すると、この評価規準がどのような過程を経て作られたかもわかります。

特に、[技能]の部分には「**実際のコミュニケーションにおいて**」と記載されていることや、「**思考・判断・表現**」の部分には「**コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて**」と記載されていることにも着目したいものです。

5領域のアイ(ウ)の13個の目標が、この評価規準に反映されています。

※全て暫定情報です。

「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料(案)

- また、小学校学習指導要領 p.157 「2.〔第5学年及び第6学年〕」の〔知識及び技能〕における「(1)英語の特徴やきまりに関する事項」に記載されている「音声」の特徴を捉えて話すことについては、**それ自体を観点別評価の規準とはしないが、ネイティブ・スピーカーや英語が堪能な地域人材を活用したり、デジタル教材等を活用したりして適切に指導を行う。**

令和元年11月25日(月) 都道府県・指定都市 教育課程研究協議会 小学校外国語部会
文部科学省 初等中等教育局 情報教育・外国語教育課 外国語教育推進室 から引用(抜粋又は改)

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	【知識】 英語の特徴や決まりに関する事項を理解している。 【技能】 実際のコミュニケーションにおいて、自分のことや身近で簡単な事柄などについて話される簡単な語句や基本的な表現や、日常生活に関する身近で簡単な事柄について具体的な情報を聞き取る技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常生活に関する身近で簡単な事柄や、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄などについて書かれた簡単な語句や基本的な表現を読んで、その概要を捉えている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に英語で話されたものを聞くようとしている。
読むこと	【知識】 英語の特徴や決まりに関する事項を理解している。 【技能】 実際のコミュニケーションにおいて、活字体の大文字・小文字を識別したり、その読み方を覚悟したりする技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常生活に関する身近で簡単な事柄や、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄などについて書かれた簡単な語句や基本的な表現を読んで、意味が分かっている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に英語で書かれたものを分かつようとしている。
話す(口頭)取り	【知識】 英語の特徴や決まりに関する事項を理解している。 【技能】 実際のコミュニケーションにおいて、日常生活に関する身近で簡単な事柄についての自分の考えや気持ち、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合う技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常生活に関する身近で簡単な事柄や、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄などについて、自分の考えや気持ち、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて話している。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に英語を用いて伝えようとしている。
話す(口頭)発信	【知識】 英語の特徴や決まりに関する事項を理解している。 【技能】 実際のコミュニケーションにおいて、日常生活に関する身近で簡単な事柄や、自分のこと、身近で簡単な事柄についての自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話す技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常生活に関する身近で簡単な事柄や、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄などについて、自分の考えや気持ち、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて話している。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に英語を用いて話そうとしている。
書くこと	【知識】 英語の特徴や決まりに関する事項を理解している。 【技能】 実際のコミュニケーションにおいて、活字体の大文字・小文字を書く技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常生活に関する身近で簡単な事柄や、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄などについて、簡単な語句や基本的な表現を書き写したり、自分のことや身近で簡単な事柄について、書き写している。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に英語を用いて書き写したり書いたりしようとしている。

知識⇒～を理解している
技能⇒～技能を身に付けている
思考・判断・表現⇒～している
主体的に学習に取り組む態度⇒～しようとしている

～語尾にも着目～

●新しい「書くこと」の評価の留意点

小学校学習指導要領(平成二十九年告示)

「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料(案)

1 小学校外国語科の「内容のまとめり」

小学校外国語科における「内容のまとめり」は、小学校学習指導要領 第2章第10節外国語 第2 各言語の目標及び内容等 英語 1 目標に示されている「五つの領域」のことである。

○書くこと

ア 大文字、小文字を活字体で書くことができるようにする。また、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようにする。

イ 自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。

令和元年11月25日(月)都道府県・指定都市 教育課程研究協議会 小学校外国語部会
文部科学省 初等中等教育局 情報教育・外国語教育課 外国語教育推進室 から引用(抜粋又は改)

「書くこと」の評価って、どんなイメージ？

アの目標は、「大文字及び小文字を正しく書き分けること、語順を意識しながら、語と語の区切りに注意して、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようにすること」を示しています。

イの目標は、「英語で書かれた文、又はまとまりのある文章を参考にして、その中の一部の語、あるいは一文を自分が表現したい内容のものに置き換えて文や文章を書くことができるようにすること」を示しています。

●評価の準備に欠かせない教科書分析

新教科書は、どんな内容、どんな構成だろう？

採択教科書を分析すると、次年度の指導の方向性が見えてきます。特に「We Can!1/2」との共通点と相違点を整理すると、意外に今年度の指導が活用できることが分かります。

右のように表で確認したり、簡条書きや文書で整理したりしてはどうでしょうか。

- 【簡条書きの例】
- 共通点 ①見開き4パート構成で一貫 ②聞くことを重視 ③既習の語句や表現を繰り返す…
 - 相違点 ①単元はじめにゴールが明示 ②読むことの英文が多い ③文構造を明示…

We Can! 1 70時間			●●●1 70時間		
Unit 1	8時間	Hakko, everyone.	Unit 1	8時間	○○○○○
Unit 2	7時間	When is your birthday?	Unit 2	7時間	△△△△△
Unit 3	7時間	What do you have on Monday?	Unit 3	7時間	□□□□□
Unit 4	8時間	What time do you get up?	Unit 4	2時間	●●●●●
Unit 5	8時間	She can run fast. He can jump high.	Unit 4	8時間	▲▲▲▲▲
Unit 6	8時間	I want to go to Italy.	Unit 5	8時間	■ ■ ■ ■ ■
Unit 7	8時間	Where is the treasure?	Unit 6	8時間	☆☆☆☆☆
Unit 8	8時間	What would you like?	Unit 6	2時間	◇◇◇◇◇
Unit 9	8時間	Who is your hero?	Unit 7	8時間	▽▽▽▽▽
			Unit 8	8時間	◆◆◆◆◆

We Can! 2 70時間			●●●1 70時間		
Unit 1	7時間	This is ME!	Unit 1	8時間	○○○○○
Unit 2	8時間	Welcome to Japan.	Unit 2	7時間	△△△△△
Unit 3	8時間	He is famous. She is great.	Unit 3	7時間	□□□□□
Unit 4	8時間	I like my town.	Unit 3	2時間	●●●●●
Unit 5	8時間	My Summer Vacation	Unit 4	8時間	▲▲▲▲▲
Unit 6	7時間	What do you want to watch?	Unit 5	8時間	■ ■ ■ ■ ■
Unit 7	8時間	My Best Memory	Unit 6	8時間	☆☆☆☆☆
Unit 8	8時間	What do you want to be?	Unit 6	2時間	◇◇◇◇◇
Unit 9	8時間	Junior High School Life	Unit 7	8時間	▽▽▽▽▽
			Unit 8	8時間	◆◆◆◆◆

ここだけ入れ替えれば、教材研究が生かせる！

(2) 外国語活動について (小学校)

改善等通知には、「外国語活動の記録については、評価の観点を記入した上で、それらの観点に照らして、児童の学習状況に顕著な事項がある場合にその特徴を記入する等、児童にどのような力が身に付いたかを文章で端的に記述すること」とされている。また、「評価の観点については、設置者は、小学校学習指導要領等に示す外国語活動の目標を踏まえ、改善等通知別紙4を参考に設定する」とされている。

令和元年11月25日(月)都道府県・指定都市 教育課程研究協議会 小学校外国語部会
文部科学省 初等中等教育局 情報教育・外国語教育課 外国語教育推進室 から引用(抜粋又は改)

●3・4年生の指導要録の記述は？

中学年の外国語活動の記入方法は？

この他、「通知」には、「記述欄を簡素化した上で、評価の観点に即して、」とされています。つまり、3観点を1文に整理して記述したり、3観点をそれぞれ1文にして記述したりして構わないということです。

大切なことは、観点到して、必ず記述をするということです。

～現在の指導要録の参考例～
記述欄が、ヨコ線で観点別に分けられています。

外国語活動の記録		外国語活動の記録			
観点	学年	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
外国語活動への関心・意欲・態度	3				
外国語への関心・意欲・態度	4				

書式や書き方などを、各校で確認！

～新しい指導要録の参考例～
記述欄が、簡素化(タテ線の削除)されています。観点到して、必ず記述します。

※全て暫定情報です。